

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」金沢横川校			
○保護者評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども園等との連携を保護者様のご要望に合わせて行い、その上で支援を行っている事。	・保護者様からのご要望等に合わせて、こちらでの支援の様子や取り組み等を、こども園や他事業所の方と共有する場を設けている。 ・園での様子等を詳細に知る事ができ、支援にその情報をいかす事ができている。	・保護者様に、こども園等の他関係機関との連携を図れる事の周知を今後も継続し、連携の機会を増やせるようにしていく。 ・連携を必要としている保護者様・利用者様がいる事を早期に気づき、行動できるように保護者様・利用者様との情報共有をこまめに行う事や、複数人の職員の多角的な視点から、児童や保護者様の心に寄り添える体制作りを強化していく。
2	様々な視点からの個別支援をおこなっている事。	・保育士や教員免許を持った職員や、心理関係の大学の学部を卒業した職員がおり、それぞれの職員からの様々な視点からの意見をいかして支援を行っている。 ・自校舎だけでなく、他校舎の職員との交流の機会を設け、自分の専門とは異なる資格を保有している方とも意見交換を行い、支援の質の向上等を図っている。 ・保護者様にご了承を得た上で、支援の事例検討会を開催している。	・他校舎職員との横のつながり、交流会の機会を継続して確保していきながら、保護者様の了承を得た上で、他校舎の支援見学等も行い、支援の質の向上の機会を作っていく。
3	安心安全に利用できる環境づくりをしている事。	・月に1回「爆発・火災・水害・地震・暴風(竜巻)・不審者対応」のいずれかのテーマで防災・防犯訓練を実施している。また、地震に関しては年間2回、児童も参加型で訓練をしている。 ・定期的に安全点検を実施している。	・職員間で実際の有事が起きた事を想定した質の高い訓練を継続して行う事。 ・現在行っている訓練からその後の対応や2次災害として想定しうる事を訓練していく。(心臓マッサージ等)

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の環境面で課題があること。	・事業所が大きな一つのフロアになっており、個室等の環境がないため、支援中の声や音などが教室内に響く事がある。音に敏感な方の支援の際には注意をする必要がある。 ・入り口前に段差があるため、完全なバリアフリーとなっていない。	・音に敏感な利用者様の支援時間を調整したり、場合に依じてパーティション等で区切る等の必要な工夫を行っていく。 ・段差等への配慮が必要な方に合理的な配慮を正しくさせるように、スロープを準備しておく。
2	保護者会、ペアレンティング研修等を含めた保護者同士の交流や学び・意見交換の場の提供。	以前は、小学校に入学を控えている保護者様同士の交流会等を開催していたが、感染症予防等を考慮し開催が行えていなかった。	今後、保護者様の要望やニーズに応じて、保護者様同士の交流の機会を設けていく。また、県や市が開催している研修等の情報提供も継続して行っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」金沢横川校

公表日 2026 年 1 月 23日

利用児童数 6名

回収数 6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2	0	0	・狭いが工夫はされている。	・ご意見を頂きありがとうございます。今後も不都合等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	2	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	2	0	0	・子どもは楽しんでいるが遊びの方がメインだと本人は思っているので、もう少し遊びが少なくなっても良い。 ・先生によります。	・ご意見を頂きありがとうございます。今後も保護者様のご意見を大切にしながら、お子様の成長に繋がる支援に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	0	0		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	2	0	0	・常に園や療育センター等の他所での活動を気にして頂いているので、親は伝えやすい。	・ご意見を頂きありがとうございます。今後も保護者様からのお話を丁寧に伺いながら、支援を進めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	0	1	・イベントに参加してみたが、保護者同士で話をしたりしている様子は見られなかった。自分自身も声をかけたりしていません。	・ご意見をいただきありがとうございます。保護者様同士の関わりの機会が中々設けられず申し訳ございません。今後イベント等を通して企画していければと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	1	・要望を伝えていない。	・ご意見をいただきありがとうございます。保護者様からのご要望・お困り事等、相談をしやすい環境づくりに努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		ご意見を頂きありがとうございます。多くの利用者の方に安心感を持って通所して頂いている事は事業所としても嬉しく感じております。今後も1名でも多くの方に、そのように思ってもらえる様に努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0		ご意見を頂きありがとうございます。多くの利用者の方が楽しみに通所して頂いている事は事業所としても嬉しく感じております。今後も1名でも多くの方に、そのように思ってもらえる様に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1	0	0	・子どもも楽しく通ってとても良くして頂いていますが、OTの先生や専門的な療育をしてもらえる先生等を各教室に配置して欲しいです。 ・安心で楽しい場所であると共に新しい興味、関心を見つける場所になっていると感じる。	・ご意見をいただきありがとうございます。今後もそれぞれのお子様にとってより良い支援を提供できる事業所であるよう努めてまいります。また、現時点で専門的な資格を保有している職員に関しては、各教室で違いがある現状です。少しでもご要望に沿えるよう努めるとともに、社内外の研修や交流会を通して職員一同支援の質の向上を図ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」金沢横川校		2026 年 1 月 2 3 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ワンフロアの教室であるため、個別支援ではあるが、サポートが必要な際に児童や指導員の声を聞き、サポートできるようにしている。 ・マンツーマンで支援スペースを区切って支援をしている。	・教室内はワンフロアで個室がないため、人数が多い時間は他児の声が聞こえる。また、運動したい児童にとってはスペースの確保が難しい時もある。時間帯等を調整したりスペースを区切りながら最大限ニーズに沿えるよう努めたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		関係法令に則った職員配置で行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・パーティションで仕切ったり、番号で識別できるようにしている。 ・教室内は段差無くバリアフリー化されている。	・音が敏感な児童はワンフロアの為、気になる可能性がある。利用時間帯を調整する等しながら、調整している。 ・トイレが1つしかないため、やや不便ではある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・広く使えるように児童の支援スペースの配置を考えたりしている。また、掃除や消毒をこまめに行う事ができている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーティションで区切られるため、子どもの使いたいようにスペースを使う。 ・児童の特性等に応じて配置を固定するなどしている。 ・定期的に安全面の点検を行っている。	・個室がない。パーティションで個室スペースを作る事はできるが、音は聞こえる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ま各々が考えながら業務にあたり、他の職員とも相談をし進める事ができている。 ・研修ミーティングを定期的に開催し、学習機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後も、それぞれの職員からの意見を全体で共有しながら、支援を行っていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員同士で児童の情報共有を密に行っている。 ・児童発達支援の児童は目標設定等が変わる頻度が多いため、こまめに行う事ができている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在、第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間を通して研修を開催しており、意見交換や学びの機会が確保されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・個別支援計画更新に合わせて、又は保護者様からのご要望や児童の変化に合わせて見直し、共有するようにしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・きらりで統一したアセスメントシートを活用しながらアセスメントを行っている。個別支援計画にもアセスメントシートや直接聞き取った情報等を考慮し作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・全員で情報を共有、又相談をし作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援に入る際の申し送りや支援後の次回の方針の話を綿密に行う事ができている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・他の指導員や他の場所での様子も加味して支援を考えるようにしている。 ・きらりで統一されたアセスメントシートを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域に合わせた計画を立てている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・担当指導員、他指導員がモニタリングを行い、プログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動プログラムの定期的な見直しが行われている。 ・個別支援計画更新に合わせて、又は保護者様からのご要望や児童の変化に合わせて見直し、共有するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・小集団イベントに参加する児童は、集団への参加に応じた支援内容が組み込まれている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝終礼の中で共有をし、記録を残している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・朝終礼の中で共有をし、記録を残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・複数のプログラムの中で活動を進めるため、記憶が新しいうちに記録を記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・個別支援計画更新に合わせて、又は保護者様からのご要望や児童の変化に合わせて見直し、共有するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童の発達や保護者様の事が分かる職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者様のご要望に応じて連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・各関係機関の方々と情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校や特別支援学校の方々と情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			・地域的にはみちのポケットが児童発達支援センターとなるため、研修や交流会を定期的に参加させていただいている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		毎月行っているきらりひろばの際、利用児の兄弟姉妹児との交流する機会を設けています。また、イベントに興味をもたれた方も参加できるようになっています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・フィードバック時等できらりでのご様子をお伝えしながら、ご自宅や園でのご様子等もお伺いしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所内においてペアレント・トレーニングは行っていませんが、必要に応じて関係機関の紹介、社会資源等の情報提供を積極的に行っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に丁寧な説明を心掛け行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者様、児童、それぞれの思いを聞き取り、支援に反映させるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・計画更新、新規契約の際には、保護者様がイメージできるよう説明を行い、サインを頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の支援の際にご相談を受ける事が、その都度行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		以前は保護者様同士の交流会を開催しましたが、本年度は開催機会がありませんでした。来年度は保護者様のニーズ等も踏まえ、必要に応じて開催できればと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		要望があった際はもちろん、事業所側から必要に応じて提案や相談を行い様々な情報提供を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログやInstagramを定期的に更新している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きの書庫に保管し、事業所職員内での必要な情報共有であっても、共有方法に十分な配慮して行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚ツールを用いる等、利用者様や保護者様一人ひとりに合わせて対応している。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・イベント案内を地域以外にも行っている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・それぞれのマニュアルがあり、訓練も定期的に行っている。児童参加型の防災訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・計画を作成し、月に1回「火災」「水害」「台風・竜巻」「地震」「不審者」「爆発」の中から1つ、防災・防犯訓練を開催している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服用している薬の種類等が変わった際には、保護者様に共有いただいております、その都度職員間で共有している。児童個人ファイルにも記載している。 ・アセスメントシートやてんかん発作に関しては独自のシートに記載している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・食事提供は行っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画を作成し、計画に沿った対応を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・初回契約時に安全確保に関する説明を行っている。取り組み内容に関して変更がある際は適宜保護者に周知を行っている。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを作成し、職員全体で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・行政の行う虐待防止研修に参加している。 また、法人内でも年に3回研修の機会を設けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に関する指針を作成し、契約時の重要事項説明でも保護者様に説明をおこなっている。また、個別支援計画に記載をし、保護者様とも綿密なお話をした上で、職員全体で統一した対応がとれるようにしている。	